

基本的な遊び方

カードは単なる道具（トランプと同じ）です。どのような使い方（遊び方）をしても構いません。是非、新しい使い方を考えてみて下さい。下記に、創発 Cafe のワークショップの流れを記述します。（1チーム4名で行います；このワークだと4セット必要です）

- ・ **表面** : 赤字で書かれた、ネガティブな言葉が書かれた面 .. 便宜上**表面**
- ・ **裏面** : 青字で書かれた、ポジティブな言葉が書かれた面 .. 便宜上**裏面**
- ・ **ファシ** : ファシリテーター（ワークショップの講師）

- (1) ファシ「カードの**表面**を上にして、トランプのようにきって下さい」
- (2) ファシ「切り終わったら、自分にはこんな面があるなあと思うカードと、そうではないカードとで、大きく2つに分けてください。」
- (3) 仕分けが終わったら…
- (4) ファシ「それでは、自分にはこんな面があるなあと思ったカードの中から、特にその傾向が強いと感じたベスト3を選んでみてください。3つ選べない人は多くても良いです。選んだカードだけ机の前に並べて、他のカードはまとめてください。」
- (5) ファシ「同じチームの人と、見比べっこして下さい。」
「**そうそう、お前にはそんな所があるよね！（笑）**」
「**え～、そんなことないよ！**」
「**そんな風に思っていたんだ～**」

様々な言葉が飛び交うと思います。

（ジョハリの窓の「開放の窓」「盲点の窓」「秘密の窓」等の会話です）

- (6) ファシ「それでは、3枚のカードをひっくり返して下さい」
- (7) 次々に現れる、自分の隠れた長所が見えます。場が明るくなります。
- (8) 最後に、こう問いかけてワークは終了です。

「みなさんは、自分の欠点・ネガティブな言葉のベスト3を選んで納得しましたよね。そして、引っ繰り返して出てきた言葉にも納得しましたよね。では、どうして他の人のネガティブなカードを、簡単にひっくり返せないのでしょうか？あの人は口が悪いとか、人見知りだとか、ネガティブな部分だけを指摘してしまいます。自分自身は、ひっくり返して納得するのに、どうして他人はひっくり返せないのでしょうか？長所を見ることができないのでしょうか？カードには**表**も**裏**もありません。どちらも自分自身であり、どちらも相手なのです。」